

持続可能なまちづくりに向けて

次の10年、20年、30年を見据えて、第7次総合計画や公共施設の再編に向けた議論が進められています。30年後の小矢部市はどのように変わっているのでしょうか。



(写真：稲葉山からの眺望)



補正予算の概要	2	委員会報告	9
審議経過・人事案件	2	委員会行政視察報告	10
議長交際費等	2	閉会中委員会開催状況	11
審議議案・議員別賛否状況	3	市外からの行政視察	11
代表・一般質問	4~8	会務報告・編集後記	12

一般会計補正予算・条例改正など

12議案を議決しました

6月8日から22日までの15日間を会期として6月定例会を開会しました。6月定例会では、市長から平成30年度小矢部市一般会計補正予算や条例の一部改正、財産の取得や小矢部市公平委員会委員の選任同意についてなど議案9件、議員から議員提出議案3件が提案され、それぞれ原案のとおり可決・同意等しました。

その他、法令等に基づく報告事項が2件あったほか、請願1件を処理、議員派遣を可決しました。

◎ 6月補正予算の概要

議案第25号 平成30年度小矢部市一般会計補正予算(第1号)

補正額 1億5,155.1万円 累計予算額 162億9,885.1万円

《主な事業》

- 情報管理費 2,160 万円
改元対応に伴うシステム改修費
- 防災事業費 710 万円
洪水ハザードマップ作成費
- 津沢まちづくり推進事業費 1,110 万円
(仮称)津沢夜高会館建設に伴う設計業務委託料等
- 市道新設改良事業費(事業認証による増額) 2,848.6万円
市道改良工事費の増等
- 中学校管理運営費(寄附金を活用) 140 万円
市内4中学校の学校図書、津沢中学校の備品を整備
- 体育施設改修事業費(スポーツ振興くじの助成金を活用) 4,330 万円
小矢部陸上競技場芝張り替え費用等

6月定例会の 審議経過

8日	本会議(提案理由説明)
11日	議員協議会 議案調査日
12日	議案調査日
13日	議案調査日
14日	議会運営委員会 本会議(代表・一般質問)
15日	本会議(一般質問)
18日	民生文教常任委員会
19日	公共施設再編特別委員会 産業建設常任委員会 交通対策特別委員会
20日	総務常任委員会 議案調査日
21日	議会運営委員会 委員長会議
22日	議員協議会 本会議(質疑・討論・表決他)

(会期15日間)

人事案件

◎小矢部市公平委員会委員の選任同意

高田 裕法 氏(水島)

永年勤続議員表彰

全国並びに北信越市議会議長会定期総会において、次の方が議員表彰を受けられました。

嶋田 幸恵 議員

◎議員在職15年以上表彰

平成30年度 議長交際費支出状況

平成30年4月～平成30年7月(単位:円)

区分	件数	金額
1 慶弔・見舞費	7	63,000
① 御祝・寸志		
② 激励金	6	62,000
③ 見舞・香典	1	1,000
2 協賛費	5	24,075
3 会費・懇談会費	8	52,480
4 その他	5	82,712
合計	25	222,267
平成30年度予算額		1,400,000
執行率		15.88%

※小矢部市議会のホームページからでもご覧になれます。

6月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区 分 (主な内容)		議決結果	中野	山室	加藤	義浦	吉田	藤本	白井	福島	中田	石田	嶋田	沼田	中西	尾山	砂田	宮西	
			留美子	秀隆	幸雄	英昭	康弘	雅明	中	正力	正樹	義弘	幸恵	信良	正史	喜次	喜昭	佐作	
補正予算	議案第25号	平成30年度小矢部市一般会計補正予算(第1号) (補正予算の概要は2ページを参照ください。)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
条例の改正	議案第26号	小矢部市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について ・個人番号を利用する事務の範囲として、市が独自に利用できる事務を追加するため、関係部分について所要の改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			×	×	○
	議案第27号	小矢部市税条例等の一部改正について ・地方税法が改正されたこと等に伴い、関係部分について所要の改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	議案第28号	小矢部市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例等の一部改正について ・法令及び県条例との整合性を図るため、関係部分について所要の改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
その他	議案第29号	財産の取得について ・(仮称)大谷統合こども園整備事業用地の取得を行うもの。 用地面積 7,765.37㎡ 取得価格 85,419,070円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	議案第30号	財産の取得について ・(仮称)蟹谷統合こども園整備事業用地の取得を行うもの。 用地面積 8,581.01㎡ 取得価格 42,742,009円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
専決承認	承認第4号	小矢部市税条例の一部改正について(3月31日専決) ・地方税法が改正されたことに伴い、関係部分について所要の改正を行ったもの。 (平成30年4月1日施行)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	承認第5号	小矢部市国民健康保険税条例の一部改正について(3月31日専決) ・地方税法等の改正に伴い、国民健康保険税の軽減措置(5割軽減・2割軽減)に係る所得判定基準に関する改正及び国民健康保険事業の県域化に伴う文言の整理を行ったもの。 (平成30年4月1日施行)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
人事	同意第1号	小矢部市公平委員会委員の選任同意について (人事案件の概要は2ページを参照ください。)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
請願	請願第2号	TPP11(CPTPP)協定を批准しないことを求める意見書の請願 請願者 農民連小矢部班 代表者 辻慶輝 (紹介議員 砂田喜昭)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×	○	×
議員提出議案第1号	小矢部市議会基本条例の一部改正について ・時代の変化に対応し、より市民の負託に応えるため、所要の改正を行うとともに、災害時において、議会機能の早期回復と被害拡大防止を図るため、災害時の議会対応についての規定を設けるもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
議員提出議案第2号	小矢部市議会委員会条例の一部改正について ・常任委員会での審議を多角的に行い、さらなる議論の活性化を図るため、現行の総務、民生文教、産業建設の3常任委員会を、総務産業建設、民生文教の2常任委員会へと再編成し、その委員定数を各8人とするもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
議員提出議案第3号	小矢部市議会会議規則の一部改正について ・議会への市民参加の機会の拡大を図るため、請願及び陳情の審査に際し、提出者からもその趣旨について聴取する機会を設けることができるよう所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○

議長は表決に加わりません

6月定例会で報告された事項

報告	報告第1号	平成29年度小矢部市継続費繰越計算書の報告
	報告第2号	平成29年度小矢部市繰越明許費繰越計算書の報告



会派「誠流」
沼田 信良 議員

質問 今年の11月には市長選が予定されているが、市長の4選出馬の意向と政治政党の公認、推薦等の考えについて問う。

市長 平成18年12月から市長という重責を11年半にわたり務め、市の発展と市民生活の質の向上のため誠心誠意取り組んできた。任期中には、アウトレットモールの誘致を実現し、賑わいの創出や交流人口の拡大など多くの効果をもたらした。また、現在取り組んでいる石動駅周辺整備事業により、新たな賑わいゾーンが創出されるものと確信している。一方で、今後も続く人口減少問題は避けて通れず、現在策定作業を進めている第7次総合計画や、今後の公共施設の在り方についても、人口減少を踏まえた取組が不可欠であると考

えている。これまで進めてきた施策の成果が芽吹いていることを実感する一方で、本市が飛躍できるかどうかは今後の展開にかかっていると考えている。これからの小矢部に向けたビジョンをやり

遂げたいという思いから、次期市長選への出馬を決意した次第である。

なお、政治政党の公認、推薦等については、今後、支援者と協議のうえ判断していきたい。

質問 平成21年度よりスタートした第6次総合計画も、今年度で最終年度となるが、その成果と課題について問う。

また、来年度からスタートする、今後10年の小矢部を左右する第7次総合計画について、市長の所見を問う。

市長 第6次総合計画において、中学生までの医療費無料化や第3子以降の保育料無料化など子育て支援に積極的に取り組んだ結果、「働く世代が住みやすい都市ランキング」では、全国813市区のうち、12位となったほか、様々な成果があった一方で、人口対策については課題であると考えており、目標人口の3万3千人を維持できず、近いうち

に3万人を割り込むことも想定されている。施策の推進を図りながら、少子化と人口減少を克服して、将来にわたって活力のある地域の維持を目指したい。

第7次総合計画では、これまでの10年の取組を踏まえながら、市民一人一人が住んでみたいと思ふ魅力、住み続けたいと思ふ安心感、住んでよかったと思ふ充実感をより一層実感できるま

ちを目指し、これまで以上に本市が輝き続けることができるよう、全身全霊で取り組んでいきたい。

質問 こども医療費助成や放課後児童クラブの充実などにより、産み育てる施策は充実してきているが、10年後、20年後に、この子ども達が小矢部市を支えてくれるような施策が必要ではないか。

市長 将来の小矢部市を担う人材育成は非常に重要なテーマと考えている。普通教室へのエアコンの整備や、スタディ・メイ

ト、多人数学級支援講師等の配置などにより、本市は、県内でも有数の教育環境にあるものと思ふ。未来の小矢部市を担う子供たちの健やかな成長を目指して、ふるさと教育などの充実をはじめ、各施策に取り組んでいきたいと考えている。

また、健康寿命の延伸は活力ある地域社会を築くための重要な課題であると認識しており、平成29年度に策定した第7期高齢者保健福祉計画においても、高齢者自身もボランティアなど地域での活動に積極的に取り組むこととしている。市長寿会連合会をはじめとした関係機関との連携を図りながら、さらなる健康寿命の延伸のため、積極的に社会参加できる元気で活動的な高齢者の増加を目指した体制構築に努めていきたい。

- ◎市長の4選出馬について
- ◎第6次総合計画の成果と課題について、そして第7次総合計画について所見を問う
- ◎子供対策と高齢者対策

果が芽吹いていることを実感する一方で、本市が飛躍できるかどうかは今後の展開にかかっていると考えている。これからの小矢部に向けたビジョンをやり

遂げたいという思いから、次期市長選への出馬を決意した次第である。

なお、政治政党の公認、推薦等については、今後、支援者と協議のうえ判断していきたい。

市長 将来の小矢部市を担う人材育成は非常に重要なテーマと考えている。普通教室へのエアコンの整備や、スタディ・メイ



平成27年7月に開業したアウトレットモール

代表・一般質問の詳細については市議会ホームページで公開している会議録をご覧ください。(6月定例会分は9月上旬更新予定)



◎第7次総合計画について



白井 中 議員

質問 市ではビジネスホテル誘致に向けて宿泊施設立地促進条例を制定したが、未だホテル誘致は実現していない。この条例は今年度3月に失効することになるが、今後の対応と次の手段をどのように考えているか。

企画政策部長 誘致交渉の状況によつては条例の有効期限を延長し、次の手段として助成内容の拡充等を考えている。具体的には、現行の投下固定資産額の5%とする補助率の拡充、そして交付要件の見直しを想定しており、全国の他市の例も踏まえて検討する必要があると考えている。

質問 人手不足の背景もあり、今後ますます外国人の技能実習生が増え続けることが想定されるが、外国人の地域へ関わり方や交流についてどのような取組を進めるのか。

企画政策部長 多文化共生に対する学習・研修会の実施や国際交流イベントの開催を検討しており、異なる文化や生活習慣を持つ人々と

もに認め合い、暮らしやすい地域を築くため、多文化共生に対する理解を深めるとともに、地域住民と在住外国人との交流機会を増やすことにより、多文化共生を推進していきたい。

質問 市のシンボルであるクロスランドタワーはいつまで存続するのか。具体的な計画について問う。また、タワーについて長寿化対策を図るよう方針転換できないか。

教育長 今後、第7次小矢部市総合計画の実施計画において、市全体の財政状況や今後の中長期の財政推計を踏まえた検討を行い、対応可能な方策や計画額について示したいと考えている。また、長寿化については、今後、公共施設再編計画等との整合性を図りながら検討したいと考えている。



クロスランドタワーは大きな不具合が発生した時点で利用の停止が予定されている



藤本 雅明 議員

質問 人口減少が本市の将来に与える影響について、当局の所見を問う。

市長 生産年齢人口の減少に伴い、就業者が減少するなど、地域経済規模の減少が懸念される。また、中山間地域等での集落の消滅、空き家の増加、保育園、小中学校、地域公共交通などが維持できなくなるなど市民生活への影響が懸念される。加えて、地域経済の規模縮小により市税収入が減少する一方、高齢化の進行により扶助費が増加し行財政運営が一層厳しくなり、公共施設や公共サービスの効率化によるサービス水準の低下が懸念される。

質問 本市の移住・定住を促進するには、人口1%取り戻し戦略が有効だと考えられる。市が地域の現状を分析説明し、地域の人と共に対策を考え、地域と行政がひとつになつて移住・定住に取り組むことが必要だ。当局の所見を問う。

企画政策部長 人口問題は行政だけでは解決できない問

題であり、地域の受け入れ体制の確立、移住を支援する企業・団体との連携など、市民との協働により、移住・定住対策に取り組むことが重要である。具体的な施策については、引き続き、第7次総合計画の策定作業の中で調査、検討を進めていきたいと考えている。

質問 公園遊具の点検の実施状況について問う。

産業建設部長 毎年5月下旬から6月上旬にかけて、本市が管理をしている全ての遊具について、専門業者に委託して点検を実施している。遊具を構成する部材などの磨耗状況や変形、経年劣化などについて確認する劣化診断を実施しており、不具合を発見した場合、直ちに遊具を使用中止とし、順次取り換え、補修等の対応を行っている。



使用中止となった公園遊具

◎人口減少問題について ◎公園遊具について

- ◎今後の小矢部市の農業について
- ◎メルヘンのまちおやべの今後について
- ◎スポーツの推進について



石田 義弘 議員

質問 近年では、ドローンなどのハイテク技術を活用した農業の実証実験等が進められているが、本市でのこれらの農業の普及に向けた助成制度について問う。

産業建設部長 ドローン等の新たな技術を活用した農業用機械を導入するために、農水省の補助事業やスーパードローン等の操作に必要な講習費用の助成として、市から1個人10万円、JAIならばから1組織5万円の助成を行っている。

質問 公共施設の削減は、少子高齢化が進んで行く中で、後世への負担を減らす意味でも最重要課題だと考えるが、削減に向けた決意を問う。

市長 パブリックコメント等において、市民から積極的な再編を望む意見を多くいただいた。早期に方向性を示し、後の世代に負担を残さないように、スピード感を持って取り組む決意である。また、メルヘン建築とクロスランドおやべにつ



メルヘン建築も再編の対象として検討されている

いても、現状どおり維持することは困難であると考えており、他の公共施設と同じように再編を検討したいと考えている。

質問 現状では、少子化の影響もあり、スポーツ少年団や部活動に支障が出ていると思う。子ども達に1人2種目以上体験できるように取組を実施できないか。

教育委員会事務局長 スポーツ推進審議会において同様の意見をいただいております。スポーツ少年団本部に1人複数種目の入団について検討いただいているところである。また、他種目型の部活動は種類が少なく希望の部に入部できない生徒等のニーズにマッチする方法の一つだと思いが、実際に運用が可能かどうかについては、今後、調査、研究を行いたい。

- ◎おやべ型産業観光の促進について
- ◎今年の雪害に対するその後の対応について



山室 秀隆 議員

質問 おやべ型産業観光の現在の状況について問う。

企画政策部長 現在の受け入れ企業数は18社あり、この18社を見学型、体験型、座学型及びこれらの複合型に分類することで、申込者のニーズに応じた視察メニューが提供可能となっている。平成29年度の実績として、延べ15社が合計8団体155人を受け入れている。団体名から年齢層を推察すると、155人のうち小中学生が30人、高校・大学生が67人、成人が58人と推測される。

質問 一人でも多くの学生に地元で就職してもらうためにも、おやべ型産業観光に就活型を追加し、市として支援する考えはないか。

企画政策部長 おやべ型産業観光は、若者に市内企業を知っていたく非常に有効な手段である。学生の就職先の選定に当たっては、保護者の意見が大きく左右することから、例えば、学生に加え、保護者とともに参加できるような、就活型という新しいパッケージの追加

を市企業協会、市商工会に提案し、学生の地元企業への就職につながるよう周知していきたい。

質問 農業団体は、地区の道の状況も把握しており、また、近年では農業団体の法人化が進んでいることから、冬場に除雪の仕事があれば、常勤者の雇用や経営安定化にもつながるのではないかと考えるが、農業団体へ除雪に関する意向調査を実施してはどうか。

産業建設部長 現在の建設業者主体の体制では、会社の経営規模、人員の高齢化などにより、オペレーターの確保が難しい状況にある。今後は、農業団体に対してもその経営体の規模等を考慮したうえで、除雪作業に参加していただけるよう、アンケート調査を実施するなど働きかけを行いたい。



おやべ型産業観光 (ホームページ)

*用語解説

「おやべ型産業観光」

…… 小矢部市商工会・小矢部市企業協会が、小矢部市の産業振興と新たなビジネスチャンス呼び込むことを目的として、市内事業所と連携して視察の受け入れを行っている。

- ◎国保税の引き下げについて
- ◎個人住宅の耐震化について
- ◎循環型社会をめざして
- ◎大谷博物館の積極的活用を
- ◎高岡インター出口を常時左折可に



砂田 喜昭 議員

質問 子育て環境を良くするためにも国保税の子ども均等割を廃止できないか。

民生部長 県単位化により保険料統一に向けて事業を進めている段階であり、市独自の制度としてではなく、県あるいは国の制度として子ども均等割を廃止する制度を構築するよう、引き続き要望していきたい。

質問 今年度から、国は、個人住宅の耐震化を促進するために、1戸当たり100万円の支援を行う制度を創設したが、これに取り組み考えはないか。

産業建設部長 この制度を活用するためには、住宅の所有者に対して戸別訪問などによる耐震化促進活動を行うなどの4項目の取組と検証見直しをすることが求められている。これらが市にとって負担となることから、取り組みやすい環境となるよう県に支援を要望し、県と協議をしながら取り組んでいきたいと考えている。

質問 再生可能エネルギー基本条例の制定に向けた決

意を問う。

市長 条例制定には市のみのならず、市民、事業者などとの連携や新たなシステム構築についての検証が必要であると考えているが、現段階では、これらの環境が醸成されていないため、今後も引き続き、調査、研究を進めたいと考えている。

質問 大谷博物館について、市民からお茶会の開催などの特別企画のアイデアを募集し、併せて、季節毎に企画展を開催するなど、積極的な活用を図れないか。

教養委員会事務局長 今年度は開館5周年を迎え、10月には、記念事業として大谷家寄贈の美術品等の企画展を開催するほか、お茶会や邦楽等の演奏会を予定している。提案のあった企画展をはじめ、市民の要望も踏まえて、魅力ある博物館となるよう努めていきたい。



本市の名誉市民である大谷家の方々を顕彰する大谷博物館

- ◎生産性の高い富山県農業の展開について
- ◎水島・埴生保育所について
- ◎ドクターヘリについて
- ◎児童虐待について
- ◎寿永荘の今後について
- ◎公共施設内での分煙対策について



嶋田 幸恵 議員

質問 ハトムギの薬用成分ヨクイニンを活用した商品開発等について所見を問う。

産業建設部長 JAいなばでヨクイニンの活用方法を研究しており、これまでに、絞りを油を使ったハトムギオイルの化粧品などが製品化されている。今後も、ブランド化や販路拡大を支援していきたいと考えている。

質問 水島・埴生保育所の今後の見通しについて問う。

市長 児童数は、今後もしばらくは同程度で推移するものと見込んでいます。現在、両保育所は統合対象となっていないが、小矢部市公共施設再編計画において、2025年までに施設更新に合わせて再編を検討することとしており、認定こども園への移行など多面的に検討を行い、市民に利用しやすい施設を目指していきたいと考えています。

質問 寿永荘の今後の見通しと、今後の市社会福祉協議会との関係について問う。



寿永荘

議会が所定の手続を経て最終的に決定するものと考えている。また、寿永荘で実施していた介護予防事業については、実施場所を含めた課題等について、市社会福祉協議会と連携を取りながら協議・調整を図りたい。

質問 市の公共施設の分煙状況の実態と対策について問う。

総務部長 本庁舎では、2階と4階に喫煙所を設けており、総合保健福祉センターでは、2階の待合ロビーに喫煙所を設け、その他の公共施設においては、一部屋外に喫煙所を設けている施設以外は実質的に禁煙となっている。法改正により、行政機関の屋内では完全禁煙、屋外でも受動喫煙を防止する措置が必要となるため、適切な対策に努めていきたいと考えています。

民生部長 寿永荘の維持等については、市社会福祉協

※その他、次の質問がありました。
「高岡インター出口を常時左折可に」

一般質問

※その他、次の質問がありました。
「ドクターヘリについて」ほか

◎高齢者と障がい者の課題について
◎財政の課題について
◎成長戦略について、特に企業誘致と駅南開発



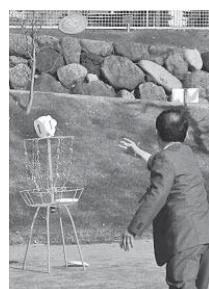
加藤 幸雄 議員

質問 健康づくりやコミュニケーションの促進などの観点から、高齢者・障害者スポーツを盛んにするため、高齢者と障害者の合同のスポーツ大会などを企画してはどうか。

民生部長 まずは、ねんりんピックに合わせて本市で開催される、バリアフリーディスクゴルフの練習会を関係機関と連携して開催することで競技を浸透させ、共生スポーツの推進を図るとともに、高齢者・障害者に対して、継続的にスポーツの機会や情報の提供に努めていきたいと考えている。

質問 田川の元焼却場予定用地や新西の創業者支援団地用地などの、市が保有している遊休地の活用方法について問う。

総務部長 市では公有財産検討委員会を設置し、遊休地の有効な活用・売却について検討しているところである。公共施設の再編に伴い、新たに生み出される公共施設の跡地も含め、市有地の有効活用を図ることが



バリアフリー ディスクゴルフ

必要であり、今後、利活用や処分について考え方や実施手順などを整理し、長期的な視点から有効活用するための方針づくりに取り組んでいきたいと考えている。

質問 小矢部IC周辺の69局エリアは、光ファイバー網が未整備であるが、高度情報化社会において、企業誘致等には高速通信網の環境整備が不可欠であると考ええる。当局の所見を問う。

企画政策部長 光回線に対するニーズは十分認識しているが、NTTからは、現状では採算面で単独での整備は難しいと聞いており、ケーブルテレビ設備の更新に合わせた光回線化が計画された場合、これも整備手法の一つとして検討したいと考えている。引き続き、導入に向けた調査を進め、企業誘致に結びつく環境整備に取り組んでいきたい。

◎方針管理の在り方について



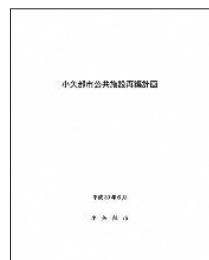
中野留美子 議員

質問 次世代の負担を減らすために、議会として公共施設削減に向けた意見書を提出したが、当局の動きを見ると、一方では公共施設を増やす動きもあり、危機感を持って公共施設の削減に取り組んでいるのか疑問である。当局の所見を問う。

総務部長 計画では、今後30年間ににおける総量削減目標を20%以上としており、持続可能な自治体経営を確立するためにも、公共施設の再編は避けて通れないと考えており、公共施設の総量削減の目標達成を目指していきたいと考えている。

質問 公共施設の再編を実現するために30年もかけるようでは遅すぎるのではないか。当局の所見を問う。

総務部長 公共施設を整備する際には、市民ニーズ等様々なものを勘案し、大きな費用を投下して、数十年間にわたり改修を加えながら維持し、市民に活用されるものであり、公共施設の総量を見直す必要ができたからといって、即座に20%



統合や譲渡を含め様々な形での公共施設の再編が検討されています

削減するというものではなく、今後の公共施設の需要を慎重に見極め、最適な時期に最適な対応をすべきと考えている。

質問 市では積極予算と銘打ち、予算を膨らませ続けているが、いつまでもこの状態を続けるべきではない。自主財源を大きくし、財務体質の強化に努めるなど、市単独でも運営できる財政を目指すべきだと考える。本市の予算について、将来あるべき姿を問う。

総務部長 収支が均衡し、財政調整基金などの繰り入れに頼ることなく、予算編成を行うことがあるべき姿であり、歳入面では、企業誘致や地場産業の振興等による税収の増加を図ることが重要であり、歳出面では、行財政改革の推進を通じた歳出全般の無駄を排除することが重要だと考えている。

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員
会審査の過程において、市当局に対し、
次の意見がありました。

総務常任委員会

一点目は、災害対策における洪水ハ
ザードマップについては、市民に広く
周知をはかり、有効的な活用を目指す
こと。また、災害協定の締結を行った
企業及び団体との連携を強化し、万全
の対策を講じること。

二点目は、中央省庁及び県での職務
経験を得る機会を積極的に設け、職員
の多角的で高度な行政実務能力の向上
と派遣先との連携強化をはかること。
三点目は、総合教育会議において、
小中学校の統廃合を初めとした様々な
諸課題を協議検討することとなるが、
小中学校統廃合審議会での審議内容を
注視するなど、幅広く情報を収集して、
協議を行っていくこと。

産業建設常任委員会

一点目は、能越自動車道福岡本線料
金所廃止に伴う影響について、特にイ

ンターチェンジの周辺道路については
交通量の増加が懸念されていることか
ら、交通状況の変化に注視するととも
に、地元自治会や関係機関との綿密な
連携のもと、必要な安全対策を講じる
こと。

二点目は、鳥獣被害対策について、
クマやイノシシなどの大型動物は、農
作物への被害だけでなく、住民の生命
身体へも危害を及ぼすおそれがある。
近年では平野部にも出没する事例が増
えてきていることから、人的被害を未
然に防ぐための対策について強化を図
ること。

民生文教常任委員会

一点目は、小中学校の統廃合につい
ては、小矢部市小中学校統廃合審議会
に諮問されているが、その審議の過程
においては、地域住民や保護者からの
意見を十分に聞くことができるよう、
各学校の関係団体等へ適宜、審議内容
を伝えていくとともに、意見交換会に
多くの人が参加できるように、その開催
方法については十分配慮すること。

二点目は、中学校の部活動について
は、教職員の多忙化が問題視されてい
るところでもあり、また、生徒数減少
に伴い、部活動の存続も難しくなっ

てきているところではあるが、部活動指
導員の活用等も図りながら、生徒の思
いを第一に考えて必要な対策を講ずる
こと。

三点目は、校舎の安全対策について、
教職員が日常的又は定期的に行ってい
る点検においては、子ども達の安全管
理体制をより強化するとともに、不具
合等を発見した場合は、早急に教育委
員会と連携を取り合い必要な対策を講
じ、常に子ども達の安全を最優先に考
え、危険箇所等の修繕に必要な予算措
置を確実にを行うこと。

公共施設再編特別委員会 (最終報告)

議会からの意見書やタウンミーティ
ング等での市民からの意見を踏まえ、
今回、小矢部市公共施設再編計画
(案)の報告がなされたが、前期で検
討することとなっている施設について
は、しっかり期限を設定したうえで、
同再編計画の適正な進行管理に努めて
いくこと。

また、今後の個別施設計画の策定に
当たっては、地域住民や利用者等から
の意見を十分に聞くとともに、何故今、
公共施設の再編が必要であるかという
ことをしっかりと説明をし、理解を得た

うえで、慎重かつスピード感を持って
策定をすること。

なお、同再編計画については、五年
毎に進捗状況を確認しながら見直しを
行うこととなっているが、小中学校統
廃合審議会からの答申や個別施設計画
の策定によって状況等に変化が生じた
場合は速やかに計画の見直しを行うこと。

交通対策特別委員会 (最終報告)

一点目は、泉町と本町の交差点につ
いて、これら交差点では、特に朝夕の
時間帯に混雑が見られ、交通事故の危
険性を大いにはらんでいる状況である。
石動駅へアクセスする重要な交差点で
あることから、混雑解消に向けて関係
機関と連携して、早急に対策を講じる
こと。

二点目は、今回、南北自由通路の供
用開始に合わせた市営バスのダイヤの
見直しを行ったところであるが、運転
免許証の返納者は年々増えており、バ
スの潜在的な需要が拡大している状況
にあることから、多角的に必要な把握
に努めるとともに、多様な住民ニーズ
に柔軟に対応するために、コミュニティ
バスの導入やデマンド型乗合タクシー
の拡大等について検討を行うこと。

行政視察報告

総務常任委員会

【日程】
5月9日
～11日

【視察先】

兵庫県三木市・丹波市・養父市

●防災について

兵庫県三木市では、住民参加型の訓練を中心とした防災訓練と防災体験コーナーが設置される防災イベントを開催し、住民の防災意識の高揚に努めていました。

また、自主防災組織との連携強化や防災に関する諸制度の整備に取り組み、住民による防災活動を積極的に支援していました。

●廃校活用について／市有地売却の課題について

兵庫県丹波市では、空き校舎を利活用した成功事例の紹介や、利用を検討する民間事業者と自治体が話し合う場を設けたイベントを開催し、共同でイベントの運営を行った学生団体とともに効果的な空き校舎の利活用を目指して取り組んでいました。

また、市有地の入札実績を考慮したうえで売却価格を定期的に見直すなど、市有地売却の推進に努めていました。

●養父市貯木場跡地売却に係るプロポーザル募集について

兵庫県養父市では、市が所有する貯木場跡地を有効に活用できる優れた提案を民間事業者から募集し、分譲団地として整備することで若者世帯や子育て世帯を中心とする定住人口の増加を図っていました。



産業建設常任委員会

【日程】
5月22日
～24日

【視察先】

日本ジビエ振興協会
栃木県茂木町
(株)ファーマーズ・フォレスト

●有害鳥獣問題とジビエへの利活用、ジビエカーについて

日本ジビエ振興協会では、有害鳥獣の食肉化とその普及に向けて、ジビエ肉を美味しく食べするための調理法や、食肉としての安全性を確保するためのガイドラインとトレーサビリティの普及などに取り組んでいます。

また、捕獲したイノシシ等を、その場で安全に衛生的に食肉処理加工を行うことができるジビエカーについての説明を受けました。



●オーナー制度について

栃木県茂木町では、遊休農地の拡大防止等の観点から、集落主体のオーナー制度を実施し、都市部住民を受け入れることにより地域の活性化を図っていました。

また、「道の駅もてぎ」では、柚子やエゴマなどの特産品を加工する施設を整備し、道の駅を核とした地域農業の振興と6次産業化の推進に取り組んでいます。

●道の駅などを核とした地域経営、地域商社、着地型観光等の取り組みについて

(株)ファーマーズ・フォレストでは、「道の駅うつのみや」を核として、農家の6次産業化の支援や販売のプロデュース、物流網の整備による農産物等の販路確保に努め、地域農業の振興等に取り組んでいます。

民生文教常任委員会

【日程】
5月7日
～9日

【視察先】

神奈川県横須賀市
東京都世田谷区・日野市
・国分寺市

●生涯現役プロジェクト事業について

神奈川県横須賀市では、誰もがいつまでも健康で、生きがいを持って活躍できる社会の実現のため、市民一人ひとりが自身の健康管理に関心をもち、健康づくりを身近なことから始め、継続しあわせて「生きがいづくり」を目指す「生涯現役プロジェクト」を推進していました。

●看取り介護について

世田谷区立特別養護老人ホーム上北沢ホームでは、看取り介護に取り組みされており、石飛幸三医師よりいくつかの症例をもとに、説明を受けました。

●ICT活用教育について

東京都日野市では、平成18年度からICT環境を整備しており、日本教育工学協会より、市内全25校が学校情報化優良校に認定されていました。

●国分寺市プレイステーション事業について

東京都国分寺市では、市有地を民間団体(冒険遊び場の会)に管理委託をし、幼児や小学生が自ら考え、ゼロから物づくりができる「遊び場」を提供していただきました。また、親同士が悩み等を相談し合える場としても多くの方に利用されています。



閉会中委員会開催状況

総務常任委員会

5月18日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

・市はイベントに関する情報を多く得ているため、各担当課が計画する情報を全庁的に協議し、行事日程の重なりを少なくすることが望ましい。

民生文教常任委員会

5月22日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

・ママパパ講座について、受講しやすい体制づくりや、興味を持ってもらえる内容にするなどの工夫を行い、受講者が増えるよう努めて欲しい。
・市民みんなでラジオ体操をしたり、歩きやすいようにウォーキング道路を整備するなどして、健康増進に向けた環境づくりに努めて欲しい。

産業建設常任委員会

5月17日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

・稲葉山カフェレストランを観光面での活用に十分繋げることが出来るよう、食事面の拡充を含め、市民の意見を集約し、改善に努めて欲しい。

公共施設再編特別委員会

5月22日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

・パブリックコメント等の意見においても、公共施設の統廃合を速やかに進めて欲しいという意見が多い。早急に統廃合の方針を決め、スピード感を持って取組を進めて欲しい。
・公共施設の再編に関するタウンミーティングのアンケートの集計結果を見ると、回答者は60才以上の方が7割であり、また男性が8割以上であった。今後の再編に当たっては、もっと積極的に、若い世代や女性の意見も取り入れるよう努めて欲しい。

交通対策特別委員会

5月17日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

・市営バスの運行について、集落の中心部まで路線を延伸して、利用者の利便性を高めて欲しい。
・アウトレットシャトルの運行について、運行経路を中心市街地経由とし、自由乗降区間を設けることにより、中心市街地の活性化に繋げることができないか。検討して欲しい。
・泉町と本町の交差点について、交通量調査の結果等に基づき、しっかりと右折レーンを整備して欲しい。

*5月28日に議会から市長へ、早期の公共施設再編等を求める「小矢都市公共施設再編計画に関する意見書」が手渡されました。



稲葉山カフェレストラン

市外からの行政視察

小矢都市議会では、全国各地の議会関係者の行政視察を受け入れています。

(平成30年3月23日～平成30年6月7日まで)

年月日	視察来庁市町村議会 (委員会・会派)	人員(人)		視 察 内 容
		議員	随行	
30. 4. 12	埼玉県川口市議会 (住環境整備・人口問題特別委員会)	13	5	・おやべ型1%まちづくり事業について
5. 10	東京都小平市議会 (生活文教委員会)	7	2	・教育行政について

会務報告

平成30年3月23日から平成30年6月7日まで

年月日	件名	摘要	開催地
30. 4. 9 ～11	議会運営委員会行政視察	・議会改革の取り組み状況について ・議会報告会の開催状況について ・タブレット端末の導入について ・議会だよりの編集について ・議会報告会の開催状況について	三重県鳥羽市 三重県尾鷲市 愛知県日進市
4. 18	富山県西部市議会議長会総会	・平成29年度事業報告及び歳入歳出決算報告 ・平成30年度事業計画及び予算	高岡市
4. 26	全員協議会	・「小矢部市議会議員選挙の執行について」他2件報告	第一委員会室
	議会だより編集委員会	・第189号発行について	第二委員会室
	第93回北信越市議会議長会定期総会	・平成29年度会務報告及び歳入歳出決算報告 ・平成30年度予算 ・全国市議会議長会への提出議案等	富山市
5. 7 ～9	民生文教常任委員会行政視察	・生涯現役プロジェクトについて ・世田谷区立特別養護老人ホーム上北沢ホームについて ・ICT活用教育について ・国分寺市プレイステーションについて	神奈川県横須賀市 東京都世田谷区 東京都日野市 東京都国分寺市
5. 9 ～11	総務常任委員会行政視察	・防災について ・廃校活用について ・市有地売却の課題について ・養父市貯木場跡地売却に係るプロポーザル募集について	兵庫県三木市 兵庫県丹波市 兵庫県養父市
5. 17	産業建設常任委員会	・小矢部市空き家相談会について報告	第二委員会室
	交通対策特別委員会	・石動駅周辺整備事業（駅施設及び南北自由通路）の工事進捗状況について他1件報告	第二委員会室
5. 18	総務常任委員会	・「演芸会 おやべ五百円亭」の実施について他1件報告	第二委員会室
5. 22	民生文教常任委員会	・小矢部市災害廃棄物処理計画の策定について他6件報告	第二委員会室
	公共施設再編特別委員会	・小矢部市公共施設再編計画（素案）に対する意見について（中間報告）	第二委員会室
5. 23 ～25	産業建設常任委員会行政視察	・有害鳥獣問題とジビエへの利活用、ジビエカーについて ・オーナー制度について ・道の駅などを核とした地域経営、地域商社、着地型観光等の取り組みについて	長野県茅野市 栃木県茂木町 栃木県宇都宮市
5. 28	全員協議会	・「津沢夜高あんどん祭」について報告	第一委員会室
5. 29	富山県選出国會議員と富山県市議会議長会との懇談会	・各市からの要望事項の要旨説明	東京都
5. 30	第94回全国市議会議長会定期総会	・平成29年度会務報告及び平成28年度決算報告 ・平成30年度予算 ・部会提出議案27件、会長提出議案5件等	東京都
5. 31	議会運営委員会	・6月定例会提出議案について他	第二委員会室

編集後記

第14期目の小矢部市議会議員の任期も、9月1日をもって満了しようとしております。任期中、市民の皆様には格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、6月定例会では、公共施設の再編をテーマとした質問が多くありました。

数多くの公共施設が廃止、統合されていくことはとてもつらく寂しいですが、今後、人口減少と少子高齢化がさらに進行し、市税収入の伸び悩みや扶助費等の増大などにより、厳しい財政運営を強いられることが予想されていることを鑑みると、この現実を真摯に受け止め、公共施設の再編に取り組んで行かねばならないと考えております。

再編に当たっては市民の皆様のご理解とご協力が不可欠です。今後とも、皆様のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

今回の「議会だより」は、平成30年11月の予定です。（議会だより編集委員一同）